

第2回 公民連携によるスポーツ施設整備 に関する検討会議

令和6年11月25日（月）
熊本県観光文化部スポーツ交流企画課

第1回検討会議における主な御意見

公民連携の点での御意見

- 熊本の事情を踏まえた公民連携による方向性の検討とすることがよいのではないか。
- スタジアム・アリーナ改革の基本的な考え方は、公民連携により、まちのにぎわい創出につなげることで視野に入れる。周辺のまちづくりと一体的な検討を行い、地域活性化につなげる。競技場単体ではなく、集客施設など複合的な機能、多目的な場所にする。

現状・課題を受けての御意見

- 藤崎台県営野球場については、文化財保護との関連の実際はどうか。
- 温暖化による空調設備の整備の必要性。
- ユニバーサルデザインの・インクルーシブ的な発想での施設整備の必要性。
- 全国大会、国際大会等を開催する場合のドーピング検査に関する付帯施設の観点。
- 避難所利用時などの防災の観点。
- イニシャルコストだけでなく、ランニングコストも論点とすべき。

第1回検討会議における主な御意見

検討対象施設の目指す方向性に関する御意見

- 施設ごとの目的、方向性などを定める必要がある。
- プロスポーツ主体とするのかアマチュアスポーツ主体の施設とするのか。
- 国際大会や全国大会等に対応できる施設を目指すのか。
- 地域のスポーツ拠点であり、一般利用についても念頭においた検討が必要。
- 子どもの運動スポーツへのかかわり方。「する」「見る」だけではなく、「支える」「知る」も重要。将来的に施設を支える中核は、今の子どもたち。
- 他県の施設と競争するのか。

交通アクセスに関する御意見

- 施設までの導線や交通アクセスも検討に含める必要がある。アクセスのよい場所に立地するのが一番の肝。対戦相手などよそから来る人のことを考慮することも重要。

第1回検討会議における主な御意見

県・市町村との関係に関する御意見

- 市町村と連携し、一緒に動いていくこと。公と公の連携。熊本市と県の役割をどうするかも含めて検討してほしい。
- 管理者(市町村)の垣根を越えて、県民にとってより身近に活用できるような施設となるよう検討できれば。